

名門私学探訪⑧7

岡山学芸館 清秀

多彩な感動体験プログラムで
注目されるニューリーダー！

撮影／岩井 進 取材・文／橘 雅康 取材同行／森永直樹（進学情報室長）

外国人教師や留学生たちと一緒に弁当を食べる「イングリッシュ・ランチ」、英会話に花が咲く。アフリカのガーナやフィリピンなど、多国籍の留学生たちと交流する生徒たち



SPIRITS

生徒たちの主体的なチャレンジを支える、闊達な校風が人気！

同校の教育コンセプトを最も具現化したものが、中3で行われる「タイ・カンボジア研修」でしょう。物見遊山として観光名所を訪れるのではなく、極度の貧困や虐待などの経験を持つ現地の子どもたちを目の当たりにし、実際に交流を行う中で、自ら社会課題に高い感度を持つ学び方ができているようです。取材の日も、写真上の「イングリッシュ・ランチ」のように世界の同世代と繋がり、課題を考える機会がありました。

また、生徒たちに大人気の「清秀夏の体験WEEK」(写真下)では、先生方が独自に企画した8つの様々な講座を自由に選択できます。中学時には、全国初の試みである他校と協働した2泊3日の「思考力UPワークショップ」や「大三島での自然体験キャンプ」など、生徒たちの知的好奇心を掻き立てるプログラムが用意されています。



「タイ・カンボジア研修」の様子。感動体験は同校ならではの！



岡山学芸館清秀ならではの探究学習とは……

中学受験を志す小学生たちを楽しませるイベントなど、とにかく先生方の発想力が豊かで学びの楽しさがあふれる同校。7月下旬の「STEM FESティバル」では、スポーツドリンクを使った電池づくりや、双眼実体顕微鏡を使った煮干しの解剖、プログラミングで信号機を作るなど10種類以上のユニークな実験、ほかに平賀先生が担当する特別講座「ハイレベル理科実験」も行われました。

教頭の橋ヶ谷多功先生は「本校の探究学習は、まず自分を知ること、そして社会との結びつきを感じることから始まります。中学での体験活動が高校でのアカデミックな学びへと繋がり、論理的な思考力を高めていければと考えています。自分の興味や関心に生徒自身が気づけるプログラムがたくさんあります。いろんな視点で物事をとらえる評価軸が多いのも本校の特徴ですね。」と語ります。



教頭 橋ヶ谷多功 先生



写真上は「イングリッシュ・ランチ」を企画した中2・池田優菜さん（日能研岡岡校出身）

「真のリーダーに求められるのは、物事を客観的にとらえるための広い視野と思考力、そして何となく自分自身で動く行動力です。ただし、決して独りよがりになつてはいけません。学んだ知識というのは、生徒たち自らが体験活動を通して五感で感じ得ることで、深い教養として裏付けされると思っています。教室の前には『利他の心』と書かれた色紙額を掲げていますが、他者や他国を理解し愛することが出来る前提として、まずは自分自身や家族、友人を大切に、祖国に誇りを持つ人であれば世界と伍していけません。本校では教職員が一丸となって生徒たちのチャレンジを応援しますよ。」と校長の加藤武史先生。そうした先生方の思いは、同校の授業や学校行事、すべてのカリキュラムに共通して見られます。



校長 加藤武史 先生

日本人としての誇りや、「利他の心」を持って取り組む学校生活とは……

岡山学芸館清秀中・高は2010（平成22）年に開校した新進気鋭の進学校。教育の根底には「世界で活躍できる立派な日本人を育てる」という森教育学園・岡山学芸館高校と共通する理念が掲げられています。社会生活をおくるうえで、その基盤となるのが「規範意識」。自分を律することができ、正しい道徳観を身につけなければ、他者の痛みがわかる真のリーダーにはなれないという、明確な指導方針を掲げているところに、地元から厚い信頼がうかがえます。



最新設備の新5号館が竣工！

LOCATION & FACILITIES

多彩な学びを実現する、抜群の教育環境！

独自のユニークな教育で注目されている同校ですが、近年は中学入試当日に兵庫県の姫路市から専用のバスも運行し、岡山市内からの受験者に加え、兵庫県の西エリアからも受験者が増えています。JR「岡山駅」から最寄りの「西大寺駅」までは18分、姫路からだとは在来線で約90分。新幹線の利用を組み合わせると、50分にまで通学時間を短縮することができます。「西大寺駅」からは徒歩7分、岡山市南区方面からは専用のスクールバスが運行されており、通学環境も整っています。周辺はとても落ち着いた文教地区となっており、約10万㎡にも及ぶキャンパスには学校法人森教育学園の岡山学芸館高等学校と清秀中学校・高等部が隣接しています。



学校の近くで行われるのが日本三大奇祭の一つ「裸祭り」

高野山真言宗の別格本山である「西大寺」（山号：金陵山）。ここは、毎年2月第三土曜日に開催される日本三大奇祭の一つ「会陽（えよう）」、通称「裸祭り」で有名。本堂の梁から宝木が落とされ、ふんどし姿の男衆が奪い合うもので、同校の先生方（40歳以下）や岡山学芸館高校の体育系クラブの生徒たちなど約200名がこの伝統行事に参加するという。



岡山市東区西大寺の高台、絶好のロケーションに位置する同校。JR西大寺駅の南側には、2019年秋竣工の「岡山学芸館スクールガーデン」(写真下)があり、ここは柔道場やダンスレッスン場、テニスコートなど多目的に活用できる文化施設となっている。



素敵な笑顔を見せてくれた、
中学1年生のみんな



LUNCH TIME & CLUB ACTIVITIES

文武両道の生徒たち、約9割がクラブ活動に参加

キャンパス内には岡山学芸館高校と共用の「さくら食堂」がありますが、中学生は圧倒的に弁当派が多いのが現状です。クラブ活動は「サッカー部」「硬式テニス部」「軟式野球部」など中学生のみで活動を行う5種と、高校生と一緒に「吹奏楽部（写真右）」「自然科学部」「琉球三味線部」など、運動系・文化系合わせて35種もあります。併設の岡山学芸館高校のサッカー部や硬式野球部は全国大会の常連、もちろん応援には参加！中学サッカー部も今年度は全国大会ベスト8の結果を残して勢いに乗っています。



全国大会で活躍するゴルフ部の面々。日々の練習は、学校と瀬戸内グラウンドとの間にある「パルグリーンゴルフクラブ」で行われる。スクールカラーのユニフォームがさわやか！

JR赤穂線「邑久駅」からすぐの瀬戸内グラウンドには、学園施設としてサッカーグラウンドと寮、トレーニングルームを完備。中学のサッカー部もここで練習（写真左）。右は、迫力あるパフォーマンスを見せる和太鼓部。



LESSONS

ワクワクする授業の数々、 2つのコースで進路を実現

同校では「自尊・対話・挑戦」の3つを目標として掲げ、中高6年間を2年ごとに「自己肯定期」「自己決定期」「自己実現期」と位置づけています。それぞれの成長段階に合わせたカリキュラムのもとで、多彩なプログラムが組まれているのです。また、清秀中学校にはそのまま高等部に進んで難関大学への進学をめざす「清秀コース」と、併設の岡山学芸館高校の各コースへと進学する「学芸館コース」があります。



写真上は、ブライアン先生が担当する中1「英語」。チーム対抗で岡山県総社市に関する英語クイズを解く。写真左は中3「道徳」。生徒指導部の今井先生が担当。「あなたはどっち派？」ということで、「ペットは犬or猫？」「季節は夏or冬？」「一日休みなら、家にいるor外に出かける？」など、各自が質問に答える。「思春期は自分と他人との違いに悩む時期、好みはそれぞれで正解はないよ」と先生。



習熟度別で行われる高1「数学B」の授業。高次方程式の解説を丁寧にを行うのは山西先生。生徒たちの集中力もさすが！



STUDENT VOICES



「学校生活の中で自分を見つめる場があり、ポジティブに変わることができました」という高3・足立きみどりさん（左）と、「授業を通じて学ぶことそのものに興味を持ちましたし、数学など少し先のことを苦戦しながら学ぶのも楽しいです」と語る高3・北原悠貴さん（右）。同校には感受性を高めたり、好奇心から探究活動へとつながるような取り組みがいっぱい。取材の日、フジテレビの番組企画「青春アカペラ甲子園！ハモネブハイスクール」でピンクレディーの「UFO」をアカペラで披露した同校の生徒たちが優勝したとの連絡が……。

矢野先生が指導する中1「技術」では、コンピュータ上で設計や製図を行うCADを用いた木材加工を実践する。



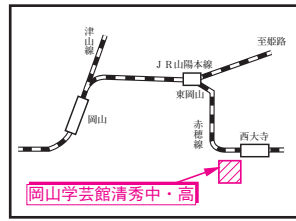
「家族が使うので角を丸めようとか、設計段階では思っていなかったことを実制作の場で気づきます。ものづくりはプロセスを考えることなんです」と先生。

岡山学芸館清秀 DATA

<https://www.gakugeikan.ed.jp/seishu/>

- ☎704-8502 岡山市東区西大寺上1丁目19-19
- ☎TEL 086-942-4916

牛窓でのヨット研修、美星町での星空観察、瀬戸内グラウンドの田んぼで行う稲作実習など、挑戦と失敗の中から学ぶ本物体験こそが「選ばれる私学」のキーワード。岡山私学のニューリーダーとして期待はさらに高まる。



●交通／JR岡山駅からは赤穂線「西大寺駅」下車、徒歩7分。スクールバスの運行もあり、西大寺バスセンターから徒歩4分

